

〇〇年 〇〇月 〇〇日

長崎県労働委員会会長 様

名称 〇〇労働組合  
 申請者  
 代表者 執行委員長 長崎 太郎  
 (申請者の押印は不要です。)

労働争議 あっせん  
 調停  
 仲裁

申請書

労働関係調整法  
 (地方公営企業等の労働関係に関する法律) 第 12条第 1項の規定により、

下記の争議について、あっせん  
 調停 仲裁 を申請します。

記

1. 関係当事者の名称と組織

組合	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇番〇号 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	名称	〇〇〇〇労働組合
	代表者	執行委員長 長崎 太郎
	組合員数	〇〇 名 (関係事業所の組合員数 〇〇 名)
使用者	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇番〇号 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	名称	株式会社〇〇
	代表者 (職・氏名)	代表取締役社長 〇〇 〇〇
	従業員数	〇〇 名

2. 事業の種類

道路貨物運送業 (わかる範囲で記入してください。)

3. 関係事業所名と所在地

株式会社 ○○  
○○市○○町○○番○○号

4. 調整事項

○○年夏期一時金について、○月分の支給  
○○年夏期一時金についての誠意ある団体交渉の開催  
(調整してもらいたい内容を記入してください。)

5. 申請に至るまでの交渉経過

- (1) 交渉開始日 ○○月 ○○日  
(2) 最終交渉日 ○○月 ○○日  
(3) 交渉回数 3 回  
(4) 労使の対立点

- ・ ○月○日、組合は、◇月分の夏期一時金を求める要求書を提出。
- ・ ○月○日、第1回団交。会社は、先行きが不透明で一時金が出せるかどうか分からないとして、有額回答を行わなかった。組合は、経営状況の詳しい説明及び財務諸表の開示を求めた。
- ・ ○月○日、第2回団交。会社が昨年約半分である△月を回答。経営状況については、厳しいと言うのみで詳しい説明も財務諸表の開示もなかった。
- ・ ○月○日、第3回団交。会社は、組合が求める経営状況の説明も財務諸表の開示もなく、これ以上出せないという一点張りで、交渉は決裂した。

(紛争の発生からあっせん申請に至るまでの経緯及び労使の主張について、簡単に記入してください)

※別紙に経過をまとめたものがあれば、それを提出されて構いません

6. 争議行為が行われている場合は、その概況

(争議行為の期間、態様、規模等を具体的に記入してください。)

7. 労働協約に基づいて申請する場合は、その関係条項

(関係条文をそのまま記載してください。)

8. 仲裁委員に関し当事者が合意により選定した者がある場合は、その氏名

(仲裁申請の場合のみ)

※これは組合からの申請例ですが、会社からも申請することができます。